

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 3 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有・実践の「ゆらぎ」「慣れ」に気をつけなければならない。管理者・職員が意識合わせを行い、課題を選び出し充実を求めて話し合いを行う。	理念に対する認識を相互で深め、日々のケアの実践につなげていく。	施設行事などを見直し、課題を選び出し解決の方法を話し合っていく。	6ヶ月
2	3	運営推進会議の強化と、地域ネットワークの充実を求められている。行政・地域包括支援センター関係者の出席を求める。	地域のネットワーク拡大のため、行政や地域包括支援センターとの連携を図る。運営推進会議への参加を要請する。	運営推進会議への出席を要請する。話し合いを行い、事業者からの情報発信とモニタリングを求める運営を行う。	6ヶ月
3	5	入所者の安全確保を優先しつつ、行動抑制につながる玄関の施錠の改善を行う。	入居者様の状況を見ながら施錠のない暮らしをめざす。	見守りを強化して、日中は玄関を解放する。夜間は施錠をし、安全に配慮する。尚、管理面での安全を期すため建物構造上の盲点の改善に向けた作業を行う。	6ヶ月
4	13	事業所が行う避難訓練の改善と、地域の防災活動に参加し、体験し、各種防災対策の強化を行う必要がある。	災害時の安全確保と、避難誘導がスムーズにできるよう、防災への相互協力体制を強化する。	事業所だけでなく、地域の方及び消防署との連携を密にし、避難訓練を行う。尚、夜間帯の対策と方法の改善作業を行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。